

【様式1】

調査年度	平成24年度						
調査タイトル	「新しい公共」の担い手による地域づくり活動に対する非資金的支援に資するコンテンツ整備事業						
<p>1 調査の目的と背景</p> <p>地域づくり活動が公的支援のみに頼ることなく自立的・継続的に地域のニーズに応じていくことが出来るようになるためには「地域づくり活動」を他の様々な事業と結び付けることでネットワーク化し、経営スキルの向上を図る必要がある。</p> <p>そこで、コーディネート事業のうち先進的・モデル的でありかつ一過性でないものを全国各地から募集し、提出された提案を審査の上、選定された取組について、当該業務費用を活用して実施し、これらの活動の具体的な成果をとりまとめ広く周知すると共に、共有可能なコンテンツを広く利活用可能な形で整理する。</p> <p>2 調査方法、体制</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(1) コーディネート事業の募集</td> <td>(4) 各取組の進捗状況等の整理</td> </tr> <tr> <td>(2) 選定に係る事務</td> <td>(5) 各取組成果の活用方法の検討</td> </tr> <tr> <td>(3) 実施の際必要となる事項の共有</td> <td>(6) 報告書の作成</td> </tr> </table> <p>3 結果概要</p> <p>コンテンツ整備により明らかとなった、効果的な中間支援は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的な研修やコンサルティングによる支援 ・担い手の思いや考え方を重視した伴走型の支援 ・中間支援組織が有するネットワークや熟度の高いビジネスモデルを生かした支援 ・都市部資源の活用 ・金融機関や企業との連携を重視 <p>また、明らかとなった課題は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な支援に向けた資金確保 ・金融機関や企業との協力体制の構築 ・継続的な情報発信の工夫 		(1) コーディネート事業の募集	(4) 各取組の進捗状況等の整理	(2) 選定に係る事務	(5) 各取組成果の活用方法の検討	(3) 実施の際必要となる事項の共有	(6) 報告書の作成
(1) コーディネート事業の募集	(4) 各取組の進捗状況等の整理						
(2) 選定に係る事務	(5) 各取組成果の活用方法の検討						
(3) 実施の際必要となる事項の共有	(6) 報告書の作成						
参考 URL 等							